

オアシス通信



三月二十、二十一日に本教会を会場にユース春キャンプを開催しました。メインゲストに西小野健先生をお招きし、「シャイン(輝く)」をテーマにメッセージを語って頂きました。

春にユース輝く

西小野師講師にキャンプ

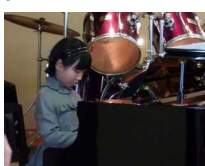
西小野先生はご両親の離婚や少年時代の不良経験、大事故や引きこもりの中でキリストに出会い変えられた証し、御言葉からのストレートなメッセージが参加したユース一人ひとりに語られました。
四名の分科会ゲストの先生方(北村師、川内師、菅原師、健師)を通しての学びも充実

高らかに主を賛美



3月13日(日)午後、毎年恒例の賛美大会が行われました。平野兄(トランペット)、田村兄(ドラム)、山本秋子姉(ピアノ)、潤くん(カホン)4名による合奏に始まり、クワイヤーの賛美まで計7チームの参加がありました。今回は健先生が飛び入り参加で、イスラエルの賛美を2曲ヘブル語で聞くことができました。

老若男女幅広い年齢層の方々が練習の成果を発表しました。最後にインドネシアリバイバルソングを全員で歌い、とても心温まる賛美のひと時となりました。



上から「クワイヤー」「白鳥教会の谷口光歩ちゃん」「平野兄・田村兄・山本秋子姉・小山潤君」「大塚兄」「ジョイフルコーラス」



ご遺族が数多く列席される

召天者記念会

し、涙と感動にあふれた二日間でした。六十八人の参加者が与えられ、信仰・洗礼・献身の決断をするユースも多く起こされました。

祈りの後、故人のスライド写真とともに故人を偲ぶ遺族のひとことが読み上げられました。記念式の後、ご遺族の希望者とともに春の香りが漂い始めた天の山の墓地を訪れました。また故田口謙児兄と山田一雄兄の納骨式が執り行われました。

る中、三月二十七日(日)午前のイースター礼拝に続き午後一時半から、召天者記念会が持たれました。三年前から、教会墓地のある天の山ではなく、教会において持たれるようになりました。